



© 2011 (Dec) NEC Corporation

HA/SystemResourceMonitor R4.2 syslog メッセージ一覧 基本編

- フォーマットについて
- 監視を推奨する syslog メッセージ
- pssmd (1M) のメッセージ
- psmonitor (1M) のメッセージ
- psanalyzer (1M) のメッセージ
- psaction (1M) のメッセージ
- psscriptexec (1M) のメッセージ
- pssmkcmonitor (1M) のメッセージ
- 障害解析情報の採取

はしがき

本書は、NX7700i シリーズ上で動作する HA/ SystemResourceMonitor R4.2 以降のバージョンで出力する `syslog` のメッセージの意味と対処方法について説明したものです。

(1) 本書は以下のオペレーティングシステムに対応します。

HP-UX 11i v2 (Itanium)

HP-UX 11i v3 (Itanium)

(2) プロダクト型番について

本書で説明しているすべての機能は、プログラムプロダクトであり次の表のプロダクト型番およびプロダクト名に対応します。

OS名	プロダクト型番	プロダクト名	プロダクトリリース
HP-UX	UQ5218	HA/SystemResourceMonitor	R4.2
HP-UX	UQ5218M	HA/ SystemResourceMonitor メディア	R4.2

(3) 本書では、HA/SystemResourceMonitor R4.2 以降のバージョンについての `syslog` メッセージを説明します。

- ✓ HP-UX、Serviceguard は、米国における米国 **Hewlett-Packard Company** の登録商標です。
- ✓ Itanium は、アメリカ合衆国およびその他の国における **Intel Corporation** またはその子会社の商標または登録商標です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TMマークを明記しておりません。

© 2011 NEC Corporation

目 次

1	フォーマットについて	1
2	監視を推奨する syslog メッセージ	2
3	pssmd(1M) のメッセージ	4
3. 1	LOG_WARNING	4
3. 2	LOG_INFO	23
4	psmonitor(1M) のメッセージ	24
4. 1	LOG_WARNING	24
5	psanalyzer(1M) のメッセージ	28
5. 1	LOG_WARNING	28
6	psaction(1M) のメッセージ	33
6. 1	LOG_WARNING	33
7	psscriptexec(1M) のメッセージ	37
7. 1	LOG_WARNING	37
8	pssmkcmonitor(1M) のメッセージ	38
8. 1	LOG_WARNING	38
9	障害解析情報の採取	40
9. 1	本製品の障害解析情報	40

1 フォーマットについて

syslog に出力するフォーマットは以下のとおりです。

```
May 24 09:35:26 hostname xxxx[yyyy]: msg
- xxxx          :コマンド名(pssmd, psmonitor, psanalyzer,
                  psaction, psscriptexec, pssmkcmonitor)
- yyyy          :pid
- msg           :メッセージ
```

syslog の facility と level は以下のとおりです。

```
facility : LOG_USER
level   : LOG_WARNING または LOG_ERR, LOG_INFO
```

2 監視を推奨する syslog メッセージ

本製品が出力する syslog メッセージには、リソース監視異常の検出を報告するものがあります。これらのメッセージは、運用管理ソフト等により監視することをお勧めします。

ただしデフォルトの設定の場合、リソース監視異常のメッセージは syslog には出力されませんので、syslog に出力する場合は、SG ファイルを変更する必要があります。

SG ファイルの変更手順につきましては、同梱の『 HA/ SystemResourceMonitor ユーザーズガイド 基本編』の「4 章 SG の設定」を参照してください。

監視を推奨する syslog メッセージは以下のとおりです。

以下のメッセージが出力された場合、リソースに関するなんらかの問題が検出されたことを意味しますので、原因を調査してください。

なお、これら以外のメッセージについては特に監視する必要はありません。

出力レベルのデフォルトは LOG_WARNING です。出力レベルの変更手順につきましては、同梱の『 HA/ SystemResourceMonitor ユーザーズガイド 基本編』の「4 章 SG の設定」を参照してください。

[プロセスリソース監視異常に関するメッセージ]

Find a sign of process resource failure (xxx)

※ xxx 内は、検出された事象により異なります。以下を参照してください。

- ・ゾンビプロセス (defunct) を検出した場合

type=defunct ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

- ・メモリリークプロセスを検出した場合

type=memleak ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

- ・ファイルリークプロセスを検出した場合

type=fileleak ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

- ・プロセス毎のオープンファイル数が maxfiles_lim の閾値を超えた場合

type=maxfile ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

- ・CPU 使用率の高いプロセスを検出した場合

type=cpu ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

- ・スレッドリークプロセスを検出した場合

type=threadleak ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

- ・プロセス毎のスレット数が max_thread_proc の閾値を超えた場合

type=maxthread ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

- ・同一名プロセス数が閾値を超えた場合

type=proc_count ,<プロセス名> ,pid=<yyy>

[システムリソース監視異常に關するメッセージ]

システムリソースの使用率が現在も閾値を超えている場合

Find a sign of process resource failure now value is over the threshold (xxx)

システムリソースの使用率が一度は閾値を超えたが現在は正常な値の場合

Find a sign of process resource failure but now value is not over the threshold (xxx)

※ xxx 内は、検出された事象により異なります。以下を参照してください。

- ・総プロセス数が nproc の閾値を超えた場合

`type=nproc ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・総オープンファイル数が nfile の閾値を超えた場合

`type=nfile ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・総ロックファイル数が nflocks の閾値を超えた場合

`type=nlocks ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・総メモリ使用量が物理メモリ量の閾値を超えた場合

`type=memsize ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・CPU 使用率が 100(%)×CPU 数の閾値を超えた場合

`type=cpu ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・総スレッド数が nkthread の閾値を超えた場合

`type=nkthread ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・総スワップメモリ使用量が使用可能なスワップ領域の閾値を超えた場合

`type=swchunk ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・総スワップメモリ予約量が使用可能なスワップ領域の閾値を超えた場合

`type=swreserve ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・総スワップメモリ使用量と総スワップメモリ予約量の合計が使用可能なスワップ領域の閾値を超えた場合

`type=swchunk&swreserve ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz>`

- ・ユーザプロセス数が maxuprc の閾値を超えた場合

`type=maxuprc ,value=<yyy> ,maxvalue=<zzz> ,uname=<aaa>`

3 pssmd(1M)のメッセージ

以下に SystemResourceMonitor 管理コマンド (pssmd) のメッセージの説明を記載します。

3. 1 LOG_WARNING

SG file is none : xxx.

説明 : SG ファイル (pssm.conf) がありませんでした。

処置 : SG ファイルを作成し、本製品を再起動してください。

SG file open error : xxx.

説明 : SG ファイル (pssm.conf) をオープンできませんでした。

処置 : SG ファイルを作成し、本製品を再起動してください。

SG file is illegal parameter : xxx.

説明 : SG ファイル (pssm.conf) に指定されているパラメータが不正なため、

SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : SG ファイルを正しく修正し、本製品を再起動してください。

LANG putenv error.

説明 : LANG の putenv に失敗しました。

処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ANALYZE_INTERVAL was illegal value. (xxx)

説明 : ANALYZE_INTERVAL に数値以外の不正な値が指定されているため、

SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : ANALYZE_INTERVAL を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

ANALYZE_INTERVAL was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : ANALYZE_INTERVAL に 0 より小さい値が指定されています。

ANALYZE_INTERVAL は最小値(1)が設定されました。

ANALYZE_INTERVAL larger than maximum values, it changed to maximum value(xxx).

説明 : ANALYZE_INTERVAL に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。

ANALYZE_INTERVAL は最大値(xxx)が設定されました。

ANALYZE_INTERVAL was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : ANALYZE_INTERVAL に 0 が指定されているか、何も指定されていません。

ANALYZE_INTERVAL はデフォルト値(xxx)が設定されました。

MONITOR_INTERVAL was illegal value. (xxx)

説明 : MONITOR_INTERVAL に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : MONITOR_INTERVAL を正しい値に設定して、本製品を再起動して
ください。

MONITOR_INTERVAL was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : MONITOR_INTERVAL に 0 より小さい値が指定されています。
MONITOR_INTERVAL は最小値(1)が設定されました。

MONITOR_INTERVAL larger than maximum values, it changed to maximum value(xxx).

説明 : MONITOR_INTERVAL に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
MONITOR_INTERVAL は最大値(xxx)が設定されました。

MONITOR_INTERVAL was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : MONITOR_INTERVAL に 0 が指定されているか、何も指定されていません。
MONITOR_INTERVAL はデフォルト値(xxx)が設定されました。

ANALYZE_INTERVAL was smaller than MONITOR_INTERVAL,**it changed to minimum value(xxx).**

説明 : ANALYZE_INTERVAL に MONITOR_INTERVAL より小さい値が指定
されています。
ANALYZE_INTERVAL は MONITOR_INTERVAL の値(xxx)が設定されました。

ANALYZE_INTERVAL was too long compared with MONITOR_INTERVAL,**it changed to ANALYZE_INTERVAL (xxx).**

説明 : ANALYZE_INTERVAL に MONITOR_INTERVAL の 100 倍より大きい値が
設定されています。
ANALYZE_INTERVAL は MONITOR_INTERVAL の 100 倍の値(xxx)が
設定されました。

SCRIPTEXEC_INTERVAL was illegal value. (xxx)

説明 : SCRIPTEXEC_INTERVAL に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : SCRIPTEXEC_INTERVAL を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SCRIPTEXEC_INTERVAL was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : SCRIPTEXEC_INTERVAL に 0 より小さい値が指定されています。
SCRIPTEXEC_INTERVAL は最小値(1)が設定されました。

SCRIPTEXEC_INTERVAL larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明 : SCRIPTEXEC_INTERVAL に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SCRIPTEXEC_INTERVAL は最大値(xxx)が設定されました。

SCRIPTEXEC_INTERVAL was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : SCRIPTEXEC_INTERVAL に 0 が指定されているか、何も指定されていません。
SCRIPTEXEC_INTERVAL はデフォルト値(xxx)が設定されました。

MONITOR_FILE_SIZE was illegal value. (xxx)

説明 : MONITOR_FILE_SIZE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。
処置 : MONITOR_FILE_SIZE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

MONITOR_FILE_SIZE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : MONITOR_FILE_SIZE に 0 より小さい値が指定されています。
MONITOR_FILE_SIZE は最小値(1)が設定されました。

MONITOR_FILE_SIZE larger than maximum values, it changed to maximum value(xxx).

説明 : MONITOR_FILE_SIZE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
MONITOR_FILE_SIZE は最大値(xxx)が設定されました。

MONITOR_FILE_SIZE was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : MONITOR_FILE_SIZE に 0 が指定されているか、何も指定されていません。
MONITOR_FILE_SIZE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

MONITOR_FILE_NUM was illegal value. (xxx)

説明 : MONITOR_FILE_NUM に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。
処置 : MONITOR_FILE_NUM を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

MONITOR_FILE_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : MONITOR_FILE_NUM に 0 より小さい値が指定されています。
MONITOR_FILE_NUM は最小値(1)が設定されました。

MONITOR_FILE_NUM larger than maximum values, it changed to maximum value(xxx).

説明 : MONITOR_FILE_NUM に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
MONITOR_FILE_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

MONITOR_FILE_NUM was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : MONITOR_FILE_NUM に 0 が指定されているか、何も指定されていません。
MONITOR_FILE_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

OUTPUT_DATA_FILE_PATH (xxx) is too long. it changed to the default value(yyy).

説明 : OUTPUT_DATA_FILE_PATH に指定されたディレクトリ名が長すぎます。
OUTPUT_DATA_FILE_PATH はデフォルトのディレクトリ(yyy)が
設定されました。

処置 : 512 バイト以下のディレクトリ名を指定してください。

OUTPUT_DATA_FILE_PATH (xxx) was not found. it changed to the default value(yyy).

説明 : OUTPUT_DATA_FILE_PATH に指定されたディレクトリが存在しません。
OUTPUT_DATA_FILE_PATH はデフォルトのディレクトリ(yyy)が
設定されました。

処置 : OUTPUT_DATA_FILE_PATH に指定されたディレクトリを作成してください。

OUTPUT_DATA_FILE_PATH (xxx) is not directory, it changed to the default value(yyy).

説明 : OUTPUT_DATA_FILE_PATH にディレクトリでない値が指定されています。
OUTPUT_DATA_FILE_PATH はデフォルトのディレクトリ(yyy)が
設定されました。

処置 : OUTPUT_DATA_FILE_PATH にディレクトリを指定してください。

KERNEL_ERROR_RATE was illegal value. (xxx)

説明 : KERNEL_ERROR_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。
処置 : KERNEL_ERROR_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

KERNEL_ERROR_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : KERNEL_ERROR_RATE に 0 より小さい値が指定されています。
KERNEL_ERROR_RATE は最小値(1)が設定されました。

KERNEL_ERROR_RATE larger than maximum values, it changed to maximum value(xxx).

説明 : KERNEL_ERROR_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
KERNEL_ERROR_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

KERNEL_ERROR_RATE was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : KERNEL_ERROR_RATE に 0 が指定されているか、何も指定されていません。
KERNEL_ERROR_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_PROC_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_PROC_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_PROC_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_PROC_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_PROC_CHECK_RATE に0より小さい値が指定されています。
SYS_PROC_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_PROC_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_PROC_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_PROC_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_PROC_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_PROC_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_PROC_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_MEMORY_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_MEMORY_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_MEMORY_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_MEMORY_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_MEMORY_CHECK_RATE に0より小さい値が指定されています。
SYS_MEMORY_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_MEMORY_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_MEMORY_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_MEMORY_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_MEMORY_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_MEMORY_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_MEMORY_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_FILE_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_FILE_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。
処置：SYS_FILE_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_FILE_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_FILE_CHECK_RATE に 0 より小さい値が指定されています。
SYS_FILE_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_FILE_CHECK_RATE larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明：SYS_FILE_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_FILE_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_FILE_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_FILE_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_FILE_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_LOCKF_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_LOCKF_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。
処置：SYS_LOCKF_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_LOCKF_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_LOCKF_CHECK_RATE に 0 より小さい値が指定されています。
SYS_LOCKF_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_LOCKF_CHECK_RATE larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明：SYS_LOCKF_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_LOCKF_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_LOCKF_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_LOCKF_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_LOCKF_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_CPU_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_CPU_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。
処置：SYS_CPU_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_CPU_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_CPU_CHECK_RATE に 0 より小さい値が指定されています。
SYS_CPU_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_CPU_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_CPU_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_CPU_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_CPU_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_CPU_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_CPU_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_THREAD_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_THREAD_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。
処置：SYS_THREAD_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_THREAD_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_THREAD_CHECK_RATE に 0 より小さい値が指定されています。
SYS_THREAD_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_THREAD_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_THREAD_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_THREAD_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_THREAD_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_THREAD_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_THREAD_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_SWAP_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_SWAP_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_SWAP_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

SYS_SWAP_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_SWAP_CHECK_RATE に0より小さい値が指定されています。
SYS_SWAP_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_SWAP_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_SWAP_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_SWAP_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_SWAP_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_SWAP_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_SWAP_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE に0より小さい値が指定されています。
SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE に何も指定されていません。
SYS_MAXUPROC_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_PROC_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明 : SYS_PROC_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : SYS_PROC_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_PROC_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : SYS_PROC_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_PROC_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_PROC_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明 : SYS_PROC_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_PROC_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_PROC_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : SYS_PROC_CHECK_TIME に0が指定されているか、何も指定されていません。
SYS_PROC_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_MEMORY_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明 : SYS_MEMORY_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : SYS_MEMORY_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_MEMORY_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : SYS_MEMORY_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_MEMORY_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_MEMORY_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明 : SYS_MEMORY_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_MEMORY_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_MEMORY_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : SYS_MEMORY_CHECK_TIME に0が指定されているか、
何も指定されていません。
SYS_MEMORY_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_FILE_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明：SYS_FILE_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_FILE_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_FILE_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_FILE_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_FILE_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_FILE_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_FILE_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_FILE_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_FILE_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_FILE_CHECK_TIME に0が指定されているか、何も指定されていません。
SYS_FILE_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_LOCKF_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明：SYS_LOCKF_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_LOCKF_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_LOCKF_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_LOCKF_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_LOCKF_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_LOCKF_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_LOCKF_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_LOCKF_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_LOCKF_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_LOCKF_CHECK_TIME に0が指定されているか、何も指定
されていません。

SYS_LOCKF_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_CPU_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明 : SYS_CPU_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : SYS_CPU_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_CPU_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : SYS_CPU_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_CPU_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_CPU_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明 : SYS_CPU_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_CPU_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_CPU_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : SYS_CPU_CHECK_TIME に0が指定されているか、何も指定されていません。
SYS_CPU_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_THREAD_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明 : SYS_THREAD_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : SYS_THREAD_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_THREAD_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : SYS_THREAD_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_THREAD_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_THREAD_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明 : SYS_THREAD_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_THREAD_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_THREAD_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : SYS_THREAD_CHECK_TIME に0が指定されているか、
何も指定されていません。
SYS_THREAD_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_SWAP_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明：SYS_SWAP_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_SWAP_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

SYS_SWAP_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_SWAP_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_SWAP_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_SWAP_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_SWAP_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
SYS_SWAP_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_SWAP_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_SWAP_CHECK_TIME に0が指定されているか、何も指定が
ありません。

SYS_SWAP_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME was illegal value. (xxx)

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME に数値以外の不正な値が指定されている
ため、SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME を正しい値に設定して、本製品を
再起動してください。

SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME に0より小さい値が指定されています。
SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME は最小値(1)が設定されました。

SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME に最大値(xxx)より大きい値が
指定されています。

SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME は最大値(xxx)が設定されました。

SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明：SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME に0が指定されているか、何も指定が
ありません。

SYS_MAXUPROC_CHECK_TIME はデフォルト値(xxx)が設定されました。

DEFUNCT_CHECK_NUM was illegal value. (xxx)

説明 : DEFUNCT_CHECK_NUM に数値以外の不正な値が指定されているため、

SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : DEFUNCT_CHECK_NUM を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

DEFUNCT_CHECK_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : DEFUNCT_CHECK_NUM に0より小さい値が指定されています。

DEFUNCT_CHECK_NUM は最小値(1)が設定されました。

DEFUNCT_CHECK_NUM larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明 : DEFUNCT_CHECK_NUM に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。

DEFUNCT_CHECK_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

DEFUNCT_CHECK_NUM was nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : DEFUNCT_CHECK_NUM に何も指定されていません。

DEFUNCT_CHECK_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

MEMORY_LEAK_CHECK_NUM was illegal value. (xxx)

説明 : MEMORY_LEAK_CHECK_NUM に数値以外の不正な値が指定されている
ため、SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : MEMORY_LEAK_CHECK_NUM を正しい値に設定して、本製品を
再起動してください。

MEMORY_LEAK_CHECK_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : MEMORY_LEAK_CHECK_NUM に0より小さい値が指定されています。

MEMORY_LEAK_CHECK_NUM は最小値(1)が設定されました。

MEMORY_LEAK_CHECK_NUM larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明 : MEMORY_LEAK_CHECK_NUM に最大値(xxx)より大きい値が
指定されています。

MEMORY_LEAK_CHECK_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

MEMORY_LEAK_CHECK_NUM was nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : MEMORY_LEAK_CHECK_NUM に何も指定されていません。

MEMORY_LEAK_CHECK_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

MEMORY_LEAK_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：MEMORY_LEAK_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。
処置：MEMORY_LEAK_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

MEMORY_LEAK_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：MEMORY_LEAK_CHECK_RATE に0より小さい値が指定されています。
MEMORY_LEAK_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

MEMORY_LEAK_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：MEMORY_LEAK_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
MEMORY_LEAK_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

MEMORY_LEAK_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：MEMORY_LEAK_CHECK_RATE に何も指定されていません。
MEMORY_LEAK_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

FILE_LEAK_CHECK_NUM was illegal value. (xxx)

説明：FILE_LEAK_CHECK_NUM に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。
処置：FILE_LEAK_CHECK_NUM を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

FILE_LEAK_CHECK_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：FILE_LEAK_CHECK_NUM に0より小さい値が指定されています。
FILE_LEAK_CHECK_NUM は最小値(1)が設定されました。

FILE_LEAK_CHECK_NUM larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：FILE_LEAK_CHECK_NUM に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
FILE_LEAK_CHECK_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

FILE_LEAK_CHECK_NUM was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：FILE_LEAK_CHECK_NUM に何も指定されていません。
FILE_LEAK_CHECK_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

FILE_LEAK_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明 : FILE_LEAK_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : FILE_LEAK_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

FILE_LEAK_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : FILE_LEAK_CHECK_RATE に0より小さい値が指定されています。
FILE_LEAK_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

FILE_LEAK_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明 : FILE_LEAK_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
FILE_LEAK_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

FILE_LEAK_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : FILE_LEAK_CHECK_RATE に何も指定されていません。
FILE_LEAK_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

CPU_CHECK_NUM was illegal value. (xxx)

説明 : CPU_CHECK_NUM に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : CPU_CHECK_NUM を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

CPU_CHECK_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : CPU_CHECK_NUM に0より小さい値が指定されています。
CPU_CHECK_NUM は最小値(1)が設定されました。

CPU_CHECK_NUM larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明 : CPU_CHECK_NUM に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
CPU_CHECK_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

CPU_CHECK_NUM was nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : CPU_CHECK_NUM に何も指定されていません。
CPU_CHECK_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

CPU_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明 : CPU_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : CPU_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

CPU_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : CPU_CHECK_RATE に 0 より小さい値が指定されています。
CPU_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

CPU_CHECK_RATE larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明 : CPU_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
CPU_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

CPU_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : CPU_CHECK_RATE に何も指定されていません。
CPU_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

PROC_COUNT_LIMITED_NUM was illegal value. (xxx)

説明 : PROC_COUNT_LIMITED_NUM に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置 : PROC_COUNT_LIMITED_NUM を正しい値に設定して、本製品を
再起動してください。

PROC_COUNT_LIMITED_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : PROC_COUNT_LIMITED_NUM に 0 より小さい値が指定されています。
PROC_COUNT_LIMITED_NUM は最小値(1)が設定されました。

PROC_COUNT_LIMITED_NUM larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明 : PROC_COUNT_LIMITED_NUM に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
PROC_COUNT_LIMITED_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

PROC_COUNT_LIMITED_NUM was nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : PROC_COUNT_LIMITED_NUM に何も指定されていません。
PROC_COUNT_LIMITED_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

THREAD_CHECK_NUM was illegal value. (xxx)

説明：THREAD_CHECK_NUM に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：THREAD_CHECK_NUM を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

THREAD_CHECK_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：THREAD_CHECK_NUM に0より小さい値が指定されています。
THREAD_CHECK_NUM は最小値(1)が設定されました。

THREAD_CHECK_NUM larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：THREAD_CHECK_NUM に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
THREAD_CHECK_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

THREAD_CHECK_NUM was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：THREAD_CHECK_NUM に何も指定されていません。
THREAD_CHECK_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

THREAD_CHECK_RATE was illegal value. (xxx)

説明：THREAD_CHECK_RATE に数値以外の不正な値が指定されているため、
SystemResourceMonitor を終了しました。

処置：THREAD_CHECK_RATE を正しい値に設定して、本製品を再起動
してください。

THREAD_CHECK_RATE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明：THREAD_CHECK_RATE に0より小さい値が指定されています。
THREAD_CHECK_RATE は最小値(1)が設定されました。

THREAD_CHECK_RATE larger than maximum values,

it changed to maximum value(xxx).

説明：THREAD_CHECK_RATE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
THREAD_CHECK_RATE は最大値(xxx)が設定されました。

THREAD_CHECK_RATE was nothing, it changed to default value(xxx).

説明：THREAD_CHECK_RATE に何も指定されていません。
THREAD_CHECK_RATE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_INTERVAL was illegal value. (xxx)

説明 : KERNEL_MONITOR_INTERVAL に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。
処置 : KERNEL_MONITOR_INTERVAL を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

KERNEL_MONITOR_INTERVAL was smaller than xxx, it changed to minimum value(xxx).

説明 : KERNEL_MONITOR_INTERVAL に最小値(xxx)より小さい値が指定されています。
KERNEL_MONITOR_INTERVAL は最小値(xxx)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_INTERVAL larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明 : KERNEL_MONITOR_INTERVAL に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
KERNEL_MONITOR_INTERVAL は最大値(xxx)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_INTERVAL was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : KERNEL_MONITOR_INTERVAL に0が指定されているか、何も指定されていません。
KERNEL_MONITOR_INTERVAL はデフォルト値(xxx)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE was illegal value. (xxx)

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。
処置 : KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE に0より小さい値が指定されています。
KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE は最小値(1)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE larger than maximum values,**it changed to maximum value(xxx).**

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE は最大値(xxx)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE に0が指定されているか、何も指定されていません。KERNEL_MONITOR_FILE_SIZE はデフォルト値(xxx)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_FILE_NUM was illegal value. (xxx)

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_NUM に数値以外の不正な値が指定されているため、SystemResourceMonitor を終了しました。
処置 : KERNEL_MONITOR_FILE_NUM を正しい値に設定して、本製品を再起動してください。

KERNEL_MONITOR_FILE_NUM was smaller than 0, it changed to minimum value(1).

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_NUM に 0 より小さい値が指定されています。
KERNEL_MONITOR_FILE_NUM は最小値(1)が設定されました。

**KERNEL_MONITOR_FILE_NUM larger than maximum values,
it changed to maximum value(xxx).**

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_NUM に最大値(xxx)より大きい値が指定されています。
KERNEL_MONITOR_FILE_NUM は最大値(xxx)が設定されました。

KERNEL_MONITOR_FILE_NUM was 0 or nothing, it changed to default value(xxx).

説明 : KERNEL_MONITOR_FILE_NUM に 0 が指定されているか、何も指定されていません。
KERNEL_MONITOR_FILE_NUM はデフォルト値(xxx)が設定されました。

tracelog file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明 : 内部ログファイルをオープンできませんでした。
処置 : 内部ログファイル (/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_trace.log) の存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。
ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

local_syslog file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明 : テキストログファイルをオープンできませんでした。
処置 : テキストログファイル (/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_syslog.log) の存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。
ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[xxx] waitpid(2) fail

説明 : waitpid(2)に失敗しました。
処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[xxx] waitpid(2) fail (exit status) (yyy).

説明 : waitpid(2)に失敗しました。
処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[xxx] waitpid(2) fail (signal accept) (yyy).

説明 : waitpid(2)に失敗しました。

処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[xxx] waitpid(2) fail (another error) (yyy).

説明 : waitpid(2)に失敗しました。

処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[xxx] execvp(2) fail (yyy).

説明 : execvp(2)に失敗しました。

処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[xxx] fork fail (yyy). Suspended.

説明 : 内部エラーが発生しました。pssmd コマンドを停止します。

処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[xxx] can not stopped

説明 : プロセスを停止できませんでした。

処置 : 障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

3. 2 LOG_INFO

CPU Information can not acquired except for IPF.

説明 : CPU 個別情報は IPF (Itanium Processor Family) 以外では取得できません。

処置 : 特に対処は必要ありません。

4 psmonitor(1M)のメッセージ

以下に統計情報取得コマンド (psmonitor) のメッセージの説明を記載します。

4. 1 LOG_WARNING

Output file name length is too long. file name = xxx.

説明：出力ファイル名が長すぎます。

処置：1023 バイト以下の出力ファイル名を絶対パスで指定してください。

Output file open error. file name = xxx, errno = yyy.

説明：出力ファイルをオープンできませんでした。

処置：統計情報ファイル (SG ファイルの OUTPUT_DATA_FILE_PATH に指定されたディレクトリ配下の psmonitor.dat) の存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tracelog file open error. file name=xxx, errno=yyy.

説明：内部ログファイルをオープンできませんでした。

処置：内部ログファイル (/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_trace.log) の存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

local_syslog file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明：テキストログファイルをオープンできませんでした。

処置：テキストログファイル (/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_syslog.log) の存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Time out file(filename=xxx), lock on processID= yyy.

説明：ファイルのロックを取得できませんでした。

PID=yyy のコマンドによってファイルが使用されています。

処置：psmonitor(1M)の実行は見送られましたが、問題はないため特に対処は必要ありません。

It was not possible to output file. file name=xxx

説明：ファイルに出力することができませんでした。

他のコマンドによってファイルが使用されている場合があります。

処置：psmonitor(1M)の実行は見送られましたが、問題はないため
特に対処は必要ありません。

pssmlib_init() fail, It was not possible to output TYPE_PROCESS.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_init() fail, It was not possible to output TYPE_SYSTEM.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tuneinfo() fail. errno = yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

gettune() fail. xxx, errno = yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat_getstatic() fail. errno = yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat_getdynamic () fail. errno = yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat_getswap() fail. errno= yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat_getlocality () fail. errno= yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat_getvminfo() fail. errno=yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat_getvminfo() fail.(xxx) errno=yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

popen() fail. command not found xxx. errno=yyy

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Get_fileno Error. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_check fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_check() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_on() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_on() fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_off() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_off() fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat_getswap () fail. errno = yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pstat() fail. errno = yyy.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

malloc(3) fail.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

5 psanalyzer(1M)のメッセージ

以下に統計情報解析コマンド (psanalyzer) のメッセージの説明を記載します。

5. 1 LOG_WARNING

Input file name length is too long. file name = xxx.

説明：入力ファイル名が長すぎます。

処置：1023 バイト以下の入力ファイル名を絶対パスで指定してください。

Output file name length is too long. file name = xxx.

説明：出力ファイル名が長すぎます。

処置：1023 バイト以下の出力ファイル名を絶対パスで指定してください。

Input file open error. file name = xxx, errno = yyy.

説明：入力ファイルをオープンできませんでした。

処置：統計情報ファイル (SG ファイルの OUTPUT_DATA_FILE_PATH に指定されたディレクトリ配下の psmonitor.dat) の存在を確認し、存在する場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Output file open error. file name = xxx, errno = yyy.

説明：出力ファイルをオープンできませんでした。

処置：解析結果ファイル (SG ファイルの OUTPUT_DATA_FILE_PATH に指定されたディレクトリ配下の psanalyzer.dat) の存在を確認し、存在する場合はファイルが不正な状態である可能性があるため、ファイルを削除した後、本製品を再起動してください。

その場合、ファイルを削除した時点から解析が行われます。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tracelog file open error. file name=xxx, errno=yyy.

説明：内部ログファイルをオープンできませんでした。

処置：内部ログファイル (/var/opt/HV/PSSM/log/pssm_trace.log) の存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

local_syslog file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明：テキストログファイルをオープンできませんでした。

処置：テキストログファイル (`/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_syslog.log`) の

存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

analyzedinfo file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明：ファイルをオープンできませんでした。

処置：本製品を再起動してください。

再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、

サポートセンターに連絡してください。

startday length is too long. sday=xxx

説明：解析開始日時(`startday`)に指定した文字列が長すぎます。

処置：解析開始日時(`startday`)は 12 バイト未満で指定してください。

startday format error. sday=xxx

説明：解析開始日時(`startday`)の指定が正しくありません。

処置：正しいフォーマットで解析開始日時(`startday`)を指定してください。

endday length is too long. eday=xxx

説明：解析終了日時(`endday`)に指定した文字列が長すぎます。

処置：解析終了日時(`endday`)は 12 バイト未満で指定してください。

endday format error. eday=xxx

説明：解析終了日時(`endday`)の指定が正しくありません。

処置：正しいフォーマットで解析終了日時(`endday`)を指定してください。

endday(xxx) specifies a date that is bigger than startday(yyy)

説明：解析終了日(`endday`)は解析開始日(`startday`)より未来の時刻を指定してください。

Time out file(filename=xxx), lock on processID= yyy.

説明：ファイルのロックを取得できませんでした。

`PID=yyy` のコマンドによってファイルが使用されています。

処置：`psanalyzer(1M)`の実行は見送られましたが、問題はないため
特に対処は必要ありません。

It was not possible to read input_file(x) (yyy).

説明：入力ファイルを読み込むことができませんでした。

他のコマンドによってファイルが使用されている場合があります。

処置：psanalyzer(1M)の実行は見送られましたが、問題はないため
特に対処は必要ありません。

Input file to lock was not found. file name=xxx, errno=yyy

説明：ロックの対象となる入力ファイルが存在しませんでした。

処置：特に対処は必要ありません。

String buffer too small.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

It failed in the acquisition of INDEX (filename= xxx).

説明：ファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、
サポートセンターに連絡してください。

It was not possible to read output_file (xxx).

説明：解析結果ファイルを読みませんでした。

他のコマンドによってファイルが使用されている場合があります。

処置：psanalyzer(1M)の実行は見送られましたが、問題はないため
特に対処は必要ありません。

malloc(3) fail.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

It failed in the backup and it is not possible to output analysis data. file name=xxx

説明：解析結果ファイルのバックアップができません。

他のコマンドによってファイルが使用されている場合があります。

処置：psanalyzer(1M)の実行は見送られましたが、問題はないため
特に対処は必要ありません。

It was not possible to output analysis data. file name=xxx

説明：解析データを出力できませんでした。

他のコマンドによってファイルが使用されている場合があります。

処置：psanalyzer(1M)の実行は見送られましたが、問題はないため
特に対処は必要ありません。

It was not possible to output analyzed_line (filename= xxx).

説明：解析済みライン数を出力できませんでした。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_init() fail (type= xxx).

説明：ファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_init() error, output stopped.(filename=xxx). (liberr_flg=yyy)

説明：ファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_get_index() fail, cannot acquire xxx.(filename= yyy)

説明：ファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_get_index() fail, cannot acquire process_information. (filename= %s)

説明：プロセス情報のファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_get_index() fail, cannot acquire TYPE_PROCESS.

説明：プロセス情報のファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_get_index() fail, cannot acquire TYPE_SYSTEM (file=xxx).

説明：システム情報のファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Get_fileno Error. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_check fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_check() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_on() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_on() fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_off() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_off() fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

6 psaction(1M)のメッセージ

以下にアクションコマンド (psaction) のメッセージの説明を記載します。

6. 1 LOG_WARNING

psaction config file is none : xxx.

説明 : SG ファイル (psaction.conf) がありませんでした。
処置 : SG ファイルを作成してください。

psaction config file open error : xxx.

説明 : SG ファイル (psaction.conf) をオープンできませんでした。
処置 : SG ファイルを作成して実行してください。
ファイルを作成しても異常が改善されない場合は、
障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Input file name length is too long. file name = xxx.

説明 : 入力ファイル名が長すぎます。
処置 : 1023 バイト以下の入力ファイル名を絶対パスで指定してください。

psaction config file name length is too long. file name = xxx.

説明 : SG ファイル (psaction.conf) 名が長すぎます。
処置 : 1023 バイト以下の SG ファイル名を絶対パスで指定してください。

Input file is none : file name = xxx, errno = yyy.

説明 : 入力ファイルがありませんでした。
処置 : 解析結果ファイル (SG ファイルの OUTPUT_DATA_FILE_PATH に
指定されたディレクトリ配下の psanalyzer.dat) の存在を確認してください。
ファイルが存在しない場合、本製品を再起動してください。
再起動しても異常が改善されない場合は、障害解析情報を採取し、
サポートセンターに連絡してください。

Input file open error. file name = xxx, errno = yyy.

説明 : 入力ファイルをオープンできませんでした。
処置 : 解析結果ファイル (SG ファイルの OUTPUT_DATA_FILE_PATH に
指定されたディレクトリ配下の psanalyzer.dat) の存在を確認し、
存在している場合は、ファイルが不正な状態である可能性があるため、
ファイルを削除した後、本製品を再起動してください。
その場合、最新の統計情報ファイル (psmonitor.dat) の最初から解析が
行われます。
ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、
障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tracelog file open error. file name=xxx, errno=yyy.

説明：内部ログファイルをオープンできませんでした。
処置：内部ログファイル（/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_trace.log）の
存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。
ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない
場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

local_syslog file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明：テキストログファイルをオープンできませんでした。
処置：テキストログファイル（/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_syslog.log）の
存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。
ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない
場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Time out file(filename=xxx), lock on processID= yyy.

説明：ファイルのロックを取得できませんでした。
PID=yyy のコマンドによってファイルが使用されています。
処置：psaction(1M)の実行は見送られました。
障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

It was not possible to read input_file (filename= xxx).

説明：入力ファイルを読み込めませんでした。
他のプロセスが入力ファイルを使用している場合があります。
処置：psaction(1M)の実行は見送られました。
障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

It failed in the acquisition of INDEX (filename= xxx).

説明：ファイルフォーマットが不正です。
処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。
ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、
サポートセンターに連絡してください。

Process already stopped: PID=xxx.

説明：プロセスはすでに停止しています。
処置：特に対処は必要ありません。

Process stopped: PID=xxx, SIGNAL=yyy.

説明：プロセスを停止しました。
処置：特に対処は必要ありません。

Process doesn't stop, not in stop allow conf. (xxx ,pid=yyy)

説明：対象のプロセスはプロセス KILL アクション定義ファイルに指定されて
いないため、停止されませんでした。
処置：特に対処は必要ありません。

Process doesn't stop in notstop.conf (xxx ,pid=yyy)

説明：対象のプロセスはプロセス KILL アクション除外定義ファイルに指定されているため停止しませんでした。
処置：特に対処は必要ありません。

Process stop execute (xxx ,pid=yyy)

説明：プロセスの停止を実行しました。
処置：特に対処は必要ありません。

Stopping process (xxx ,pid=yyy) [SIGNAL=zzz].

説明：プロセスを停止しました。
処置：特に対処は必要ありません。

Can not stopped process (xxx ,pid=yyy) [SIGNAL=zzz].

説明：プロセスを停止しようとしましたが、何らかの理由によりプロセスを停止することができませんでした。
処置：プロセスが停止できなかった原因を調査してください。
プロセスの停止処理が一定時間内に終了しなかった可能性があるため、
ps(1)等によって、PID=xxx のプロセスが存在していないことを確認してください。

Script execute (xxx)

説明：スクリプトを実行しました。
処置：特に対処は必要ありません。

String buffer too small.

説明：内部エラーが発生しました。
処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

malloc(3) fail.

説明：内部エラーが発生しました。
処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_init() fail (type= xxx).

説明：ファイルフォーマットが不正です。
処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。
ただし、同メッセージが输出され続ける場合は、障害解析情報を採取し、
サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_get_index() fail, cannot acquire xxx.(filename= yyy)

説明：ファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_get_index() fail, cannot acquire process_information.(filename=yyy)

説明：プロセス情報のファイルフォーマットが不正です。

処置：不正なデータについての解析は読み飛ばされるため、問題はありません。

ただし、同メッセージが出力され続ける場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Get_fileno Error. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_check fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_check() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_on() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_on() fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_off() fail. (filename= xxx)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pssmlib_lock_off() fail, return:xxx. (filename= yyy)

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

7 psscriptexec(1M)のメッセージ

以下に統計情報取得スクリプト定期実行コマンド (psscriptexec) のメッセージの説明を記載します。

7. 1 LOG_WARNING

scripts directory open error : xxx(yyy)

説明：定期実行スクリプト管理ディレクトリをオープンできませんでした。

処置：定期実行スクリプト管理ディレクトリを作成してください。

malloc(3) fail.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tracelog file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明：内部ログファイルをオープンできませんでした。

処置：内部ログファイル (`/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_trace.log`) の

存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない

場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

local_syslog file open error. file name=xxx, errno=yyy

説明：テキストログファイルをオープンできませんでした。

処置：テキストログファイル (`/var/opt/HA/PSSM/log/pssm_syslog.log`) の

存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない

場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

8 pssmkcmonitor(1M)のメッセージ

以下にカーネルパラメータ情報取得コマンド (pssmkcmonitor) のメッセージの説明を記載します。

8. 1 LOG_WARNING

Output file xxx open error.

説明：出力ファイルをオープンできませんでした。

処置：カーネルパラメータ情報結果ファイル (SG ファイルの
OUTPUT_DATA_FILE_PATH に指定されたディレクトリ配下の
pssmkcmonitor_static.csv, pssmkcmonitor.csv) の存在を確認し、
存在する場合はファイルが不正な状態である可能性があるため、
ファイルを削除した後、本製品を再起動してください。
ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない場合は、
障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Output directory open error. dir name=xxx, errno=yyy.

説明：出力ファイルを保存するディレクトリをオープンできませんでした。

処置：出力ファイルを保存するディレクトリを作成してください。

System information error(xxx).

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

uname(2) fail. error=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tuneinfo2(2) fail. error=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tuneinfo2(2) fail. error_code=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

kctune(1M) fail. error_code=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

kcusage(1M) fail. error_code=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

vxfsstat(1M) fail. error_code=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ipcs(1) fail. error_code=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

malloc(3) fail. errno=xxx.

説明：内部エラーが発生しました。

処置：障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tracelog file open error. file name=xxx, errno=yyy.

説明：内部ログファイルをオープンできませんでした。

処置：内部ログファイル（/var/opt/HA/PSSM/log/pssmkmonitor.log）の

存在を確認し、存在している場合は本製品を再起動してください。

ファイルが存在しない場合、または再起動しても異常が改善されない
場合は、障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

9 障害解析情報の採取

本製品の運用中に何らかの障害が発生した場合は、下記の手順にしたがって情報採取を行ってください。

9. 1 本製品の障害解析情報

- 本製品の構成ファイル群

本製品の構成ファイル群を保存します。tar(1)コマンド等を使用して、以下に示すディレクトリ配下のすべてのファイルを採取してください。

/var/opt/HA/PSSM/conf/

/var/opt/HA/PSSM/log/

および

SG ファイル(pssm.conf)の **OUTPUT_DATA_FILE_PATH** に指定されたディレクトリ

- syslog

障害発生時の **syslog** ファイルを保存します。障害の再現手順が判明している場合は、設定ファイルで **LOG_LEVEL** パラメータを 3 に設定し、debug レベルまでのメッセージが記録されるように **syslog.conf** を設定した状態でのログを採取してください。

通常 **syslog** は以下の 2 つのファイルに出力されます。

/var/adm/syslog/syslog.log

/var/adm/syslog/OLDsyslog.log

syslog.conf をカスタマイズしている場合は、本製品のメッセージが記録されているファイルを採取してください。本製品のファシリティは **LOG_USER** です。

- ホスト情報

本製品を実行しているホスト上で、以下の情報を採取してください。

- swlist** の実行結果
- swlist -l product** の実行結果
- ps -ef** の実行結果
- ps -efx** の実行結果

NX ソフトウェア

HA/SystemResourceMonitor R4.2
syslog メッセージ一覧 基本編

2011年12月 第2版

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

TEL (03) 3454-1111 (代表)

(P)

© NEC Corporation 2011

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙